

エゴン・シーレの手紙, グラフィック, スケッチブックのカタログ・レゾネ

松田 幸久

要旨

エゴン・シーレ (Egon Schiele; 1890生-1918没) はオーストリア=ハンガリー二重帝国で活躍した20世紀初頭の表現主義の画家である。これまで複数のカタログ・レゾネが作成されている。また、カタログ・レゾネに収録されていない作品や手紙などの資料について、網羅的に蒐集し、整理し、カタログとしてまとめ上げている書籍も存在する。本稿は次の書籍を詳述し、先行研究で紹介されていない情報を追加するものである。1) 70年出版のOtto Nierensteinによる"EGON SCHIELE・THE GRAPHIC WORK"。2) 1979年出版のChristian M. Nebehayによる"Egon Schiele: 1890-1918: Leben Briefe Gedichte"。3) 1982年出版のGianfranco MalafarinaによるClassici Dell'Arteシリーズの"L'opera completa di Schiele"。4) 1989年出版のChristian M. Nebehayによる"EGON SCHIELE: VON DER SKIZZE ZUM BILD: Die Skizzenbücher"と1993年出版の翻訳版である"エゴン・シーレ スケッチから作品へ"。

キーワード: エゴン・シーレ, 手紙, グラフィック, スケッチブック, カタログ・レゾネ

1 はじめに

エゴン・シーレ (Egon Schiele; 1890生-1918没) はオーストリア=ハンガリー二重帝国のウィーンで活躍した20世紀初頭の画家である。その作風から表現主義者の一人に数えられている。シーレは28年の生涯において約350点の油彩画と約3000点の素描や水彩画を残した¹⁾。今日におけるシーレの芸術家としての評価はその多くが絵画に対するものであるが、詩人としても高い才能を誇り、散文詩やアフォリズムを独特の手書き文字で残している²⁾。

筆者はシーレ作品のカタログ・レゾネ(Catalog raisonné)に注目し、その網羅的な紹介をおこなっている³⁾。カタログ・レゾネとは、ある作家の作品の図版、題名、画材、大きさ、制作年、サインや日付などの特徴、来歴と現在の所蔵者、書籍や論文での記載、解説文といった情報が網羅的に収録されたものである。シーレにおいては作品についての記録部と著者による解説部を収録した全集の一部として付されて

いることが多い。

世紀末ウィーンの研究家であるナッター (Tobias G. Natter) によると、シーレ作品のカタログ・レゾネは次の6点である¹⁾。なお、通し番号はそのまま"カタログNo"となる。

1. 1930年出版, Otto Nierensteinによる"Egon Schiele: Persönlichkeit und Werk"⁴⁾
2. 1966年出版, Otto Kallirによる"Egon Schiele: Oeuvre-Katalog der Gemälde"⁵⁾
3. 1972年出版, Rudolf Leopoldによる"Egon Schiele: Gemälde, Aquarelle, Zeichnungen"とその英語版とドイツ語版^{6,9)}
4. 1982年出版, Gianfranco MalafarinaによるClassici Dell'Arteシリーズの"L'opera completa di Schiele"¹⁰⁾
5. 1990年出版, Jane Kallirによる"Egon Schiele, the Complete Works: Including a Biography"

and a Catalogue Raisonné”¹¹⁾ および1998年出版のExpanded Edition¹²⁾

6. 2017年出版, Tobias G. Natterによる”Egon Schiele: The Complete Paintings, 1909-1918”¹⁾

筆者はそのうち、カタログNo. 4を除いたその他のカタログ・レゾネについて外観、内容、収録作品数などを中心として詳述した³⁾。特にカタログNo. 1は入手が困難であることから、その情報を保存するという目的もあった。

2 シーレ作品における別の形のカタログ・レゾネ

シーレは”筆まめ”な人であり、多くの手紙や手書きの資料が残されている。手紙の中には詩が書かれているものもある。クリスチアン・ネバヘイ (Christian M. Nebehay) はこれらについて蒐集しカタログとしてまとめているが¹³⁾、それらは前述のカタログ・レゾネには含まれていない。なぜならば、前述のほとんどは収録作品を油彩画を中心とした作品に絞ってカタログ化されたものであるからである。

カタログ・レゾネとしてではないカタログの多くがシーレ研究において重要な資料であるし、今後もそうであることは想像に難くない。本稿ではカタログ・レゾネに収録されていない作品や手紙などをカタログとしてまとめている書籍を詳述することとした。

本稿でとりあげる書籍は次の4点である。

カタログA：1970年出版, Otto Kallirによる”EGON SCHIELE・THE GRAPHIC WORK”¹⁴⁾

カタログB：1979年出版. Christian M. Nebehayによる”Egon Schiele: 1890-1918: Leben Briefe Gedichte”¹³⁾

カタログNo. 4：1982年出版, Gianfranco MalafarinaによるClassici Dell'Arteシリーズの”L'opera completa di Schiele”¹⁰⁾

カタログC：1989年原著出版, 1993年翻訳版の出版, Christian M. Nebehayによる”EGON SCHIELE: VON DER SKIZZE ZUM BILD: Die

Skizzenbücher”¹⁵⁾の日本語版である”エゴン・シーレ スケッチから作品へ”¹⁶⁾

カタログの追加にあたって、油彩画を中心としたカタログ・レゾネ、いわば本流のカタログ・レゾネはこれからも出版される可能性が高いことから、アラビア数字のナンバリングは本流のカタログ・レゾネ用とし、それ以外の出版物は追加しないこととした。本流ではないカタログ・レゾネについてはアルファベットを付して区別することとした。

カタログAはグラフィック (以下、印刷物) についてのカタログ・レゾネである。カタログBは手紙や手書きの記録を蒐集したものであり、カタログ・レゾネと称していないものである。カタログCはスケッチブックについてまとめているが、やはりカタログレゾネと称していない。

本稿では、初めて発行された時の言語版をカタログとしてとりあげる様にしているが、今回のカタログCは日本語の翻訳版を主として詳述した。これはシーレに関する書籍で日本語に翻訳されている原著に限られているためである。実際、前稿と本稿合わせて9冊の書籍をとりあげることになるが、日本語の翻訳版が出版されているのはカタログCのみである。

3.1 EGON SCHIELE・THE GRAPHIC WORK

カタログNo：A

著者：Otto Kallir

出版年：1970年

出版社：Crown publishers, inc.

言語：ドイツ語と英語の併記

サイズ：33×24.5×1.8 cm

総頁数：207頁、後ろに空白頁が3頁つく

収録開始年：1912

解説：表紙カバーには《Mädchen》¹⁷⁾と版画調でEGON SCHIELE THE GRAPHIC WORKと書かれたイラストがある。表紙カバーを外すとクリーム色をした布カバーがあり、EGON SCHIELEの文字が金色の箔押しで加工されている。このスタイルは著者による他の出版物と一貫したものである。

本書はシーレによる印刷物の作品についてのカタ

ログ・レゾネである。本書にはリトグラフやエッチングなどによる印刷物が17点収録されている。シーレは書籍の挿絵も手がけているがこれには含まれない。

本書の冒頭にはシーレが印刷物での作品作りに携わった経緯について書かれている。例えば、シーレは1911年にミュンヘンの芸術グループであるSemaの一員となり、2つのリトグラフを作成し、ミュンヘンに送ったとある。これが《Männlicher Akt (Selbstbildnis) I》とIIである。それ以降の1918年までの間について、ドイツ語と英語でそれぞれ20頁分の解説がなされている。ここには当時の手紙の書き出しも含まれている。

DOKUMENTARISCHER TEIL: DOCUMENTARY SECTIONが続く。ここではシーレと関連するチラシ、雑誌の記事、広告や、シーレによる手紙、スケッチなどのコピーが付せられ解説されている。例えば、Tafel 18 (Plate 18) として1919年11月に発行されたドイツの芸術雑誌に収録されている広告がコピーされており、そこでは《KÜMMERNIS》、《KAUERENDE》、《BILDNIS PARIS GÜTERSLOH》、《MÄDCHENAKT》の販売が宣伝されている。

その次から始まるカタログ部では1頁目にタイトルがドイツ語と英語で併記され、次の頁（タイトルの裏の頁）は白紙となり、3頁目に印刷物が収録されている。4頁目にドイツ語で作品の詳細と解説、5頁目に4頁目の英語版が書かれ、6頁目は白紙である。基本的にはこの構成だが解説文が長い場合は複数頁にまたがることもある。

収録されている印刷物のタイトル、形態、発表年は以下の通り。以下のリストではスケッチブックをGと略す。作品名は1行目にドイツ語で、2行目にイタリック体の英語で書かれているため、本リストでは両者を「:」で区切った。

- G 1 : 《Männlicher Akt (Selbstbildnis) I: Male Nude (Self Portrait) I》, リトグラフ, 1912年
- G 2 : 《Männlicher Akt (Selbstbildnis) II: Male Nude (Self Portrait) II》, リトグラフ, 1912年
- G 3 : 《Männliches Bildnis: Portrait of a Man》, エッチング, 1914年
- G 4 : 《Selbstbildnis: Self Portrait》, エッチング, 1914年
- G 5 : 《Bildnis Franz Hauer: Portrait of Franz Hauer》, エッチング, 1914年
- G 6 : 《Kauernde: Squatting Woman》, エッチング, 1914年
- G 7 : 《Kümmernis: Sorrow》, エッチング, 1914年
- G 8 : 《Bildnis Arthur Rossler: Portrait of Arthur Roessler》, エッチング, 1914年
- G 9 : 《Kopf I: Head I》, ゴム版, 1916年
- G 10 : 《Mutter ihr Kind in die Höhe hebend: Mother Lifting Up Her Child》, ゴム版, 1916年
- G 11 : 《Kopf II: Head II》, ゴム版, 1916年
- G 12 : 《Zwei Figuren: Two Figures》, ゴム版, 1916年
- G 13 : 《Drei badende Männer: Three Men Bathing》, 木版, 1916年
- G 14 : 《Männlicher Kopf: Head of a Man》, 木版, 1916年
- G 15 : 《Secession 49. Ausstellung》, カラー・リトグラフ, 1918年
- G 16 : 《Bildnis Paris von Gütersloh: Portrait of Paris von Gütersloh》, リトグラフ, 1918年
- G 17 : 《Mädchen: Girl》, リトグラフ, 1918年

3.2 Egon Schiele: 1890-1918: Leben Briefe Gedichte

カタログNo : B

著者 : Christian M. Nebehay

出版年 : 1979年

出版社 : Residenz Verlag

言語 : ドイツ語

サイズ : 28.6×24.2×4.7 cm

総頁数 : 595頁, 後ろに空白頁が3頁つく

収録開始年：1840（Ludwig Schieleが残した記録）、
シーレの手によるものは1900

解説：表紙カバーの中央から左には《Die Wahrheit wurde enthüllt》が配置されており、右上にタイトルと著者名がある。カバーを外すとオレンジ色の布装丁がなされている。本体の表紙にはEGON SCHIELEとエンボス加工してある。背表紙には黒枠の中にタイトルが記載されている。

タイトルに“Leben Brief Gedichte”（生涯，書簡，詩）とあるが，本書は紙媒体に書かれた文章を中心として収録している。絵画やデッサンも一部含まれている。収録物の構成は主に手紙であり，そのほかに紙に書かれた詩やメモがある。3頁目にタイトルが記載されており，その下に46のカラー図版，244のモノクロ図版，157の文章による複製と書かれている。

本書に収録されている手紙や関連する文章は1803点である。本書では元資料である紙媒体上の文字がブロック体に変換してある。手書きそのものに当たることはほとんどできないが，ブロック体に書き換えられていることによって資料を読む際の労力が少なくてすむ。ところどころに手書きの手紙の写真が掲載されているが，流麗な筆記体で書かれているものもあり，読み取りに習熟していなければ読解は難しい。この理由に加え，さらに読解を困難にしている理由としてシーレが用いた書体にある。本書の著者であるネバヘイはシーレの書体について“今日ではほとんど使用されていない書体を用いて書くのが常であり，読み取りは不可欠なのである”（水沢訳）と述べている¹⁶⁾。ネバヘイは1909年生まれであるが，1890年生まれのシーレと19歳ほどしか離れていない。そのネバヘイに“読み取りは不可欠なのである”と言わしめるほど，シーレの筆記体は独特なのである。この点について本邦のシーレ研究者である金田は，“シーレ自筆のメモ書きは当時のクレントという特殊な筆記体でなされ，残念ながら現在はウィーンでもごく僅かの人しか解得できない。さらにシーレの筆記体は大変読みづらいものであった。”と述べている¹⁸⁾。続けて，“筆者はウィーン留学時に，オーストリア美術研究者兼ドイツ語筆跡鑑定家であるハンスヨルク・クルーク博士の協力を得て，2001年に

シーレの筆記体からドイツ語のブロック体へと転記し”とある。これらは，紙面からシーレ像を理解しようとする時，本書が非常に重要な資料となることを示唆している。なお，シーレの手紙は大久保によって，一部ではあるが日本語に翻訳されている¹⁹⁾。

シーレについて初めて登場するのは31番の手紙である。妹のゲルトルーデから次姉のメラニーに向けた絵葉書の中に“Fröhliche Ostern!”（ハッピー・イースター！）と書かれているとの記載である。年代は1900年であり，シーレが10歳の時に書いた言葉である。

資料は年代順に並べられて収録されており，次の年の初めに数頁の解説がつく。最後の収録物は1929年のハインリッヒ・ベネシュ（Heinrich Benesch）のものであり，1803番となっている。

3.3 L'opera completa di Schiele

カタログNo：4

著者：Gianfranco Malafarina

出版年：1982年

出版社：Rizzoli Editore

言語：イタリア語

サイズ：31.5×24.0×1.3 cm

総頁数：128頁，後ろに空白頁が3頁つく

収録開始年：1906

解説：本書はRizzoli社のClassici Dell'Arteという美術大全のうちの105番目として出版された。表紙には《AUTORITRATTO》が印刷されている。

冒頭は“Scritti di Egon Schiele”と題し，シーレの手紙，詩のイタリア語の翻訳が収録されている。手紙は1910年にシーレからアントン・ペシュカ（Anton Heinrich Edmund Peschka）に宛てた手紙から始まり，1917年のもので終わる。詩も同じく1910年から始まり1916年のもので終わる。次にアルトゥル・レスラー（Arthur Roessler）を中心としたシーレについての評論が収録されている。続いて，カラー図版が48点収録されている。

カタログ部は75頁から始まる。1番は《AUTORITRATTO SU SFONDO ROSSO》で，“レオポルドによれば1906年前半のもので，画家の姉妹もこの年代を認め

ている”との解説文がある。この絵のコピーは収録されていない。最後はD112番で《EDITH SCHIELE》である。作品数は、通し番号で331番、Dのアルファベット付きが112番までである。401点の白黒の図版が頁の上部に配置されている。その中には油彩画だけでなく印刷物やスケッチブックからの収録もある。カタログ部の終わりにオットー・カリアー (Otto Kallir) によるカタログ・レゾネ⁵⁾とルドルフ・レオポルド (Rudolf Leopold) によるカタログ・レゾネ⁶⁾での番号割り付けと、本書での番号割り付けの対照表がある。

3.4 エゴン・シーレ スケッチから作品へ (原題： EGON SCHIELE: VON DER SKIZZE ZUM BILD: Die Skizzenbücher)

カタログNo : C

著者 : クリスティアン・ネバヘイ (Christian M. Nebehay)

出版年 : 1993年 (原著 : 1989年)

出版社 : リプロポート (原著 : Verlag Christian Brandstätter)

言語 : 原著はドイツ語。英語版, 日本語版など翻訳版が出版されている

サイズ : 28.7×22.8×3.0 cm

総頁数 : 377頁, 後ろに空白頁が1頁つく

収録開始年 : 1907年ごろ

解説 : 本書はネバヘイによる“EGON SCHIELE: VON DER SKIZZE ZUM BILD: Die Skizzenbücher”¹⁵⁾の翻訳版であり、シーレが使っていたスケッチブックをまとめたものである。

ネバヘイは本書冒頭で、シーレが使っていたスケッチブックはアルベルティーナ版画素描館に12冊、ウィーン市立図書館に1冊、アメリカに3冊あると述べている。本書ではアルベルティーナ版画素描館所蔵の1911年から1918年の間の12冊とウィーン市立図書館蔵の1冊を収録している。この時期は1890年に生まれて1918年に逝去したシーレにおいて、芸術家として世に認められるまでの重要な時期であったため、スケッチブックに描かれたデッサンやアイデアの記録には深く興味がそそられる。なお、ジェー

ン・カリアー (Jane Kallier) によると、現在では21冊のスケッチブックが確認されている。

本書で紹介されているスケッチブックの第1頁は概ね原寸大で掲載され、掲載順もほぼ一貫してスケッチブックの順番に従っている。スケッチブックには油彩画で描かれる元の人物、風景、物体などが多く描かれている。また、デッサン以外では、展覧会での出品作品名、友人や芸術家仲間の名前、モデルの住所、なにかの計算などが書かれている。

本書の多くを占める第1から第12スケッチブックの用紙には罫線が書かれている。はじめの方ではシーレがこの罫線を構図の参考にした形跡はないが、1914年に使用していた第6スケッチブックで初めて用紙の罫線 (マス目) を利用したスケッチが登場する。29頁目の《男と女 I》の習作と31頁目の《死と乙女》の習作である。第10スケッチブックでは11頁目に構図の習作として長方形の縦に200 cm、横に220 cmと数字が書かれており、それぞれ9マスと11マスの長さで長方形を描いている。第11スケッチブックでは1頁目に「160×130」とかかれており実際に横16マスと縦13マスを使って構図を描いている。同28, 32, 44頁に2つ、51, 54頁にも記載がある。時期的に前後するが、第4スケッチブックと第5スケッチブックの期間である1913年から1915年に使われたウィーン市立図書館蔵のスケッチブックの4, 11, 13, 47, 49, 61頁にもサイズの記載がある。多くは一辺が100 cmを超える大きさの構図が描かれていることから、1913年前後を境として、シーレ作品の中では大型に分類される絵画を制作する際には、スケッチの時点から実際の縦横比を強く意識していたのかもしれない。

本書の別の特色として、シーレの周辺人物をきめ細かに紹介している点が挙げられる。各スケッチブックが用いられていた時期に合わせて懇意にしていた画商、友人、家族がスケッチブックの前に紹介されている。一例を挙げると、“エゴン・シーレと姉妹”という文章において、幼少期からシーレのモデルの一人であった妹のゲルトルーデ本人から語られた逸話を紹介している。彼女がモデルである《不気味な女》では口を窄め顔を歪めた半裸の女性が描かれて

いるが、この表情はシーレとゲルトルーデの間のささいな喧嘩に端を発したものであるという。著者のネバヘイは1909年生まれでありウィーンで古美術画廊としてだけではなく世紀末ウィーンの研究者として活躍している。シーレの生涯や没後の時期に生き、当時の資料を収集し、研究した者のみが可能とする観点や文章が収録されている。この点においても本書がもつシーレ研究における価値は高い。なお、ネバヘイの人物像については翻訳者の水沢勉氏による“訳者あとがき”に詳細が載っている¹⁶⁾。

収録されているスケッチブックの概要は以下の通り。以下のリストではスケッチブックをSkと略す。

- Sk 1：1911年のもの。大きさは24.3×19.6 cm。46頁あるうちの36頁にスケッチがある。第1頁には「schiele 1911.」のサインが書かれている。
- Sk 2：1912年のもの。大きさは15.7×9.6 cm。72頁あるうちの68頁にスケッチとメモがある。
- Sk 3：1912年のもの。大きさは16.5×9.9 cm。64頁あるうちの56頁にスケッチとメモがある。
- Sk 4：1912年から1913年のもの。大きさは16.3×10 cm。58頁あるうちの53頁にスケッチとメモがある。
- Sk 5：1914年から1915年のもの。大きさは14×8.5 cm。62頁あるうちの48頁にスケッチとメモがある。紙には正方形の罫線が引かれている。
- Sk 6：1914年のもの。大きさは14.7×9.1 cm。88頁あるうちの47頁にスケッチとメモがある。
- Sk 7：1916年のもの。大きさは16.2×10 cm。104頁あるうちの62頁に『戦中日記』として知られる日記が、5頁にスケッチがある。本書では戦中日記のコピーはなく、スケッチがある5頁分とその反対側の頁のコピーがあるのみである。
- Sk 8：1916年のもの。大きさは16×9.8 cm。28

頁あるうちの22頁にスケッチとメモがある。

- Sk 9：1913年から1916年のもの。大きさは15.3×9.7 cm。46頁あるうちの44頁にスケッチとメモがある。
- Sk 10：1916年から1917年のもの。大きさは10.8×18 cm。44頁あるうちの22頁にスケッチとメモがある。本書ではこのスケッチブックのみ、カラーコピーとなっている。赤、オレンジ、青、紫の鉛筆やインクを使って描かれたデッサンが収録されている。
- Sk 11：1918年のもの。大きさは18.8×11.9 cm。56頁あるうちの51頁にスケッチとメモがある。
- Sk 12：1918年のもの。大きさは20.2×16.6 cm。92頁あるうちの56頁にスケッチとメモがある。
- スケッチブック ウィーン市立図書館蔵：1913年から1915年のもの。大きさは15.6×9.8 cm。785頁あるうちの52頁にスケッチとメモがある。
- アルベルティーナ蔵スケッチブック断片：大きさは様々。シートAからH、シート第1番から15番、連番のないもの6点が収録されている。

5 まとめ

本稿ではカタログ・レゾネと資料的価値が高い書籍について詳述した。紙媒体で発行されているものにおいては前稿と本稿で網羅的に紹介することができたと考えている。

本稿の元の発想は、1930年のカタログNo. 1⁴⁾の入手が困難であるという現状を鑑みて、シーレの芸術性を世に定めてきた著述家や研究者の記録を作成するというものであった。それでは、それ以外の書籍は入手が困難なのだろうか、容易なのだろうか？カタログNo. 3は複製版というべき第2版が作成され現在でも入手可能である。カタログNo. 6も出版年が近く入手は容易である²¹⁾。

カタログNo. 1を世界の多くの書店が登録するインターネットサイトであるAbeBooks²¹⁾で検索してみ

たところ、1点の販売が確認できた。2022年度に検索した際にはみられなかったが、数点という単位でマーケットに出品されているようである。大手インターネット通販サイトのebayでは販売されていなかった²²⁾。同様にAbeBooksでは、No. 2は9点、No. 4は0点、No. 5はExpanded Editionを含めて30数点ほど出品されていた。カタログA, B, Cはそれぞれ数点の出品があった。これらはあくまでもAbeBooksに出品されているものの数であり、例えばウィーンやプラハにある古書店やアンティーク店に伺えばもっと見つかる可能性はある。

総じて、どの書籍も入手することは不可能ではないが、特にカタログNo. 1は入手が困難と言えるだろう。この事態を回避するために、今後、カタログNo. 1の複製を作成しアーカイブ化することが必要だと考えている。

Appendix A

本文中に登場する作品名を記す。本文中では出典に記載されているものをそのまま転記している。1行目に本文中に記載したタイトル、2行目にドイツ語名、3行目に英語名を記載した。順はアルファベット順である。

- Mädchen
Mädchen
Girl
- AUTORITRATTO
Selbstbildnis
Self-Portrait
- AUTORITRATTO SU SFONDO ROSSO
Selbstbildnis vor rotem Hintergrund
Self-Portrait With Red Background
- BILDNIS PARIS GÜTERSLOH
Bildnis Paris Gütersloh
Portrait of Paris von Gütersloh
- EDITH SCHIELE
Edith Schiele
Edith Schiele
- KAUERENDE
Kauernde

- Squatting Woman
- KÜMMERNIS
Kümmernis
Sorrow
- MÄDCHENAKT
Mädchenakt
Girl
- Männlicher Akt (Selbstbildnis) I
Männlicher Akt (Selbstbildnis) I
Male Nude (Self Portrait) I
- Männlicher Akt (Selbstbildnis) II
Männlicher Akt (Selbstbildnis) II
Male Nude (Self Portrait) II
- 男と女 I
Mann und Frau I (Liebespaar I)
Man and Woman I (Lovers I)
- 死と乙女
Tod und Mädchen
Death and Maiden
- 不気味な女
Verschmähte Frau
The Scornful Woman
- Die Wahrheit wurde enthüllt
Die Wahrheit wurde enthüllt
The truth Unveiled

Appendix B

問い合わせ・連絡先: ymatsuda@ishikawa-nu.ac.jp

引用文献と注記

- 1 Natter, T. G. (Eds.). (2017). *Egon Schiele: The Complete Paintings, 1909-1918*. TASCHEN.
- 2 Leopold, E. (Eds.). (2008). *Egon Schiele: Poems and Letters 1910-1912*. Prestel Verlag.
- 3 松田 幸久 (2022). エゴン・シーレ作品のカタログ・レゾネ 都市経営: 福山市立大学都市経営学部紀要, 15, 125-136.
<http://dx.doi.org/10.15096/UrbanManagement.1508>

- 4 Nierenstein, O. (1930). *Egon Schiele: Persönlichkeit und Werk*. Paul Zsolnay Verlag.
- 5 Kallir, O. (1966). *Egon Schiele: Oeuvre-Katalog der Gemälde*. Paul Zsolnay Verlag.
- 6 Leopold, R. (1972). *Egon Schiele: Gemälde, Aquarelle, Zeichnungen*. Residenz Verlag.
- 7 Leopold, R. (1973). *Egon Schiele: Paintings, Watercolors, Drawings*. Phaidon Press.
- 8 Leopold, E. (Eds.). (2021). *Egon Schiele: Paintings, Watercolors, Drawings*. Himer Verlag.
- 9 Leopold, E. (Eds.). (2022). *Egon Schiele: Gemälde, Aquarelle, Zeichnungen*. Himer Verlag.
- 10 Malafarina G. (Eds.). (1982). *L'opera completa di Schiele* (Rizzoli Editor S. P. A., Series Ed.). *Classici dell'Arte Rizzoli. Vol. 105*. Rizzoli.
- 11 Kallir, J. (1990). *Egon Schiele, the Complete Works: Including a Biography and a Catalogue Raisonné*. Harry N. Abrams.
- 12 Kallir, J. (1998). *Egon Schiele: The Complete Works* (Expanded ed.). Harry N. Abrams.
- 13 Nebehay, C. M. (1979). *Egon Schiele: 1890-1918: Leben Briefe Gedichte*. Residenz Verlag.
- 14 Kallir, O. (1970). *EGON SCHIELE · THE GRAPHIC WORK*. Crown publishers, inc.
- 15 Nebehay, C. M. (1989). *Egon Schiele: Von der Skizze zum Bild: Die Skizzenbücher*. Verlag Christian Brandstätter.
- 16 ネバヘイ, C. M. 水沢 勉 (訳) (1993). エゴン・シーレ: スケッチから作品へ リプロポート
- 17 本稿では作品名を二重山括弧, "《》"で囲んでいる。シーレ作品の場合, 原題がドイツ語であるため, その後に丸括弧, "()"で囲んだ英語名が続くことが多い。この方法だと作品名が2つ, 3つと連続した時には読みづらくなってしまふ。本稿ではこれを避けるため, 文中にはドイツ語での題名もしくは引用元の言語を用いた題名の1つのみを記載することとした。なお, 本文中に記載する題名は引用元の記載に従っている。本文中に出現する作品名のリストをAppendix Aにまとめた。
- 18 金田 圭子 (2011). エゴン・シーレのマウソレウム計画 芸術文化 / 東北芸術文化学会編集委員会 編, 16, 45-70.
- 19 大久保 寛二 (2004). エーゴン・シーレ 日記と手紙 白水社
- 20 出版元のTASCHEN社のホームページにアカウントを登録するとセールメールが送られてくる。時々, カタログNo. 6が120ドルで売られている。元値は200ドル。
- 21 Abebooks. (n.d.). AbeBooks. AbeBooks. <https://www.abebooks.com/>
- 22 eBay inc. (n.d.). ebay. ebay. <https://www.ebayinc.com/company/>
- 23 筆者がカタログNo. 1を購入したのは2020年である。その時にはAbeBooksに3点の出品があった。最も安いものは100ドルほどで購入できたが, 半分にちぎれていたもので, これは買わないと思った記憶がある。次に安かったのは書籍本体で495ドル, 送料込みで563ドルであった。比較的状态が良さそうに思えたので購入した。3点目は750ドルだった。今, 495ドルの方を購入しなかったらいつか750ドルを買うことになるのか, と思索した記憶がある。その後, 折に触れ検索したがしばらくはhitしなかった。今回の検索で久々に750ドルの出品がhitした。入手困難であるのは事実だが, 購入する人もいないというのも事実のようだ。私の論文が元となって好事家が増え(るといような因果関係は無いとしても), 750ドルのレゾネは売れてほしいと思うが, そうなった時にはさらに入手困難になるというのが現状だ。

Catalog raisonné of Egon Schiele's letters, graphics, and sketchbooks

Yukihisa MATSUDA

Abstract

Egon Schiele (b. 1890 - d. 1918) was an Expressionist painter of the early 20th century, active in the Austro-Hungarian Empire. There have been several catalogues raisonnés of Schiele's works. And there are books that comprehensively collect and organize works, letters, and other materials that are not included in the catalog raisonné. In this study, I review the following books and add information that has not been presented in previous studies: 1) *EGON SCHIELE: THE GRAPHIC WORK* by Otto Kallir published in 1970, 2) *Egon Schiele: 1890-1918: Leben Briefe Gedichte* by Christian M. Nebehay published in 1979, 3) *L'opera completa di Schiele* by Gianfranco Malafarina published in 1982, 4) *EGON SCHIELE: VON DER SKIZZE ZUM BILD: Die Skizzenbücher* by Christian M. Nebehay published in 1989 and its Japanese version, *Egon Schiele sketch kara sakuhin e*.

Keywords : Egon Schiele, letter, graphic, sketchbook, catalogs raisonné

DOI : 10.15096 / UrbanManagement.1608